

令和5年度

肢体不自由教育部門

小学部

第3学年

⑥学習グループ

年間指導計画

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	小学部	学年	第3年	
教科等名	音楽			学習グループ	⑥	
ねらい	(1) 音や音楽に耳を傾け、リズムや響きの心地よさ、楽しさを感じる (2) 楽器や楽器の音に興味をもち、鳴らしたり鳴らそうとしたりする (3) 歌やリズムを感じて身体を動かしながら表現することができる。					
担当教員	須永佐和子、高橋大幸			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	改定新版「どうようえほん1」(ひかりのくに)					
主な指導の工夫	(1) 児童が興味をもてるよう、扱う楽器や教材を精選する。 (2) 鳴らしやすい楽器を選んだり、全身でリズムが感じられるようにする。 (3) 聴覚だけでなく、触覚、視覚を通して音楽に親しめるようにする。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5	春の歌	7	◆ 音楽を聴き、春の雰囲気、楽しさを感じる。 楽器に興味をもち、触れたり、鳴らしたりする。 ◇ 鑑賞・歌「春の小川」 「青い空に絵を描こう」 ◇ 楽器遊び 打楽器	○		○
6 7	夏の歌	6	◆ 歌に気持ちを向け、夏の雰囲気やリズムを楽しむ。 楽器に触れて鳴らし、手に伝わる感触、音を感じる。 ◇ 鑑賞・歌「かさくるるん」 「この山光る」「ホルディリディア」 ◇ 楽器遊び ウクレレ	○		○
9 10	秋の歌	7	◆ 楽器の音や歌に気持ちを向け、にぎやかな曲調やリズムを楽しむ。 打楽器の響き、振動を感じたり、音を鳴らしたり重ねたりする。 ◇ 鑑賞・歌「まっかな秋」 「村祭り」など ◇ 楽器遊び 和太鼓	○		○
11 12 1	冬の歌	8	◆ 楽器の音や歌に気持ちを向け、冬の雰囲気や歌の曲調を感じる。 楽器に興味をもち、触れようとしたり、鳴らしたりする。 ◇ 鑑賞・歌「雪のおどり」 「きらきら星」ほか ◇ 楽器遊び ハンドベル	○		○
2 3	みんなで歌おう	7	◆ 楽器の音や歌に気持ちを向け、歌の曲調やリズムを感じて楽しむ。 楽器の音を聴いたり鳴らしたりす ◇ 鑑賞・歌「せいじゃの行進」 「世界中の子どもたちが」 ◇ 楽器遊び、鈴ひも	○		○

※ 評価の観点：「知識」=知識・技能、「思考」=思考・判断・表現、「態度」=主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	小学部	学年	第3年	
教科等名	図画工作			学習グループ	⑥	
ねらい	(1) 様々な素材に触れ、形や色、感触などを感じたり視線を向けたりする。 (2) 素材に気づき繰り返し取り組む中で自分の手足や指を動かそうとする。 (3) 自分の気持ちや感じたことを自分なりの方法で表す力を付ける。					
担当教員	須永佐和子、高橋大幸			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	あかちゃんのおそびえほん(5) うごくにぎょうあそび(偕成社)					
主な指導の工夫	(1) 活動前に手足を動かす準備体操を行い、手指を使うことを意識付ける。 (2) 自発的な動きや関わりが出るよう、教材配置や姿勢の取り方に配慮する。 (3) 個々の実態に応じて、道具の持ち手や長さ、太さ等を調整する。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5	絵具で遊ぼう①	5	◆ 手指をたくさん使って絵具と関わり ◇ 絵の具に触れて遊ぶ。 ◇ 不織布や障子紙に色を付け、運動会の応援グッズやグループの旗を作る。	○		○
6 7	粘土で遊ぼう	7	◆ 手足をたくさん使って粘土と関わり ◇ 粘土に触れたり、粘土をこねて色を付けたりして遊ぶ。 ◇ 紙粘土を使って飾りを作る。		○	
9 10	ちぎって遊ぼう	8	◆ お花紙やトイレットペーパーをちぎったり、握ったりする。 ◇ 紙漉き ◇ 墨東祭の展示作品作りをする。	○		○
11 12	版画	7	◆ 色々な素材に触れたり、道具を使って作品を作る。 ◇ 紐や輪ゴムなどの素材触れたり、紙の上に落としたりして遊ぶ。 ◇ バレンやローラーを使って、リースや飾りを作る。	○		○
1 2 3	春の装飾を作ろう	8	◆ ビー玉の感触を手や足で感じながら、転がしたり押し当てたりして描く。 ◇ 絵の具を付けたビー玉で描く。			○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	小学部	学年	第3年	
教科等名	自立活動			学習グループ	⑥	
ねらい	(1) 相手に気持ちを向けたり、様々な働き掛けに気持ちや注意を向けたりして、感じたり、感じ分けたり、期待したり、楽しんだりすることができる。 (2) いろいろな姿勢をとること、身体を動かすことを通し、ボディ感覚を高め、リラックスできる身体をつくと共に、自分の身体を使う力を高める。 (3) 自分の気持ちや要求を自分なりの方法で表したり、伝えたりする力を付ける。					
担当教員	須永佐和子、高橋大幸			年間授業時数	720 時間	
使用教科書	しかけ絵本の本棚「コロちゃんはどこ？」(評論社) 「ひらがなカード」(くもん出版) 「でんしゃでいこう でんしゃでかえろう」(ひさかたチャイルド) エリックカールかずのえほん「1, 2, 3 どうぶつえんへ」(偕成社) 生活図鑑カード「くだものやさいカード1集」(くもん出版) こねこちゃんえほん6「かぜひいちゃった」(金の星社) 「ふわふわちゃんおでかけこんにちば」(教育画劇)					
主な指導の工夫	(1) 児童個々の課題に応じて、教材等を工夫し、指導する。 (2) 児童の表出を丁寧に読み取り、意味付けをして返すことで、表出を促して表出手段へとつなげていく。 (3) 外部専門員のアセスメントや助言を生かし、指導の積み重ね、継続を図る。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	はじまり・からだ(朝の会)		◆ 呼名に自分なりの手段で返事をする。 ◆ 関わりや活動に気持ちを向けたり、自分の気持ちを表したりする。 ◇ 呼名 ◇ 歌、身体遊び、			
通年	個別の取り組み		◆ 様々な働き掛けに気持ちや注意を向け、感じたり、感じ分けたりする。 ◇ コミュニケーションの学習(絵本、玩具を介した学習、身体遊び) ◇ 認知の学習(手指の操作、因果関係理解、視覚・聴覚を使う活動)			
通年	身体を取組		◆ 身体への働き掛けを受け止め、心地よさを感じたり、リラックスしたりできる。 ◆ 身体を動かすこと、動かされることに慣れ、意欲的に身体を動かす。 ◇ 身体を取組(ストレッチ、リラクゼーション、いろいろな姿勢、排痰、歩行練習等) ◇ トランポリン、板ブランコ、ホーススイング、バランスボール等の大型遊具活動			
通年	特設自立活動		◆ 個別の取組、身体を取組と同様。 ◇ 個別の取組、身体を取組と同様			
通年	みる・きく活動		◆ 見たり聞いたりする活動を通して、コミュニケーションの力を伸ばす。 ◇ パネルシアター、ペープサート、紙芝居、大型絵本、再現学習等			
通年	安全教育		◆ 落ち着いて避難することができる。 ◇ 避難訓練(地震・火災・津波など) ◇ 交通安全教育(歩行者シミュレーター)			
通年	食後の体調調整 下校準備		◆ 教職員の介助を受け入れたり、協力したりする。 ◇ 給食の準備・片付け、歯磨き ◇ 下校準備・着替え ◇ 排せつ指導			

※ 評価の観点：「知識」=知識・技能、「思考」=思考・判断・表現、「態度」=主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	小学部	学年	第3年	
教科等名	日常生活の指導			学習グループ	⑥	
ねらい	(1) 排せつに関する介助を受け止め、協力することができる。 (2) いろいろな介助を受ける態度を身に付ける。 (3) 食前の取組を通して、給食や注入の始まりに期待感をもつ。					
担当教員	須永佐和子、高橋大幸			年間授業時数	122.5 時間	
使用教科書						
主な指導の工夫	(1) 排せつに関する快や不快について共感的な言葉掛けをし、排せつ意識を高める。 (2) 児童個々の実態、課題に合わせた指導、介助を行う。 (3) 落ち着いて摂食介助や医療的ケアを受けられるよう、個々の対応を行う。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	排せつ		◆ 排せつに関するやりとりに自分なりの方法で応える。 ◇ 排せつの有無についてやりとりをしたり、共感的な言葉を受け止める。 ◆ 排せつに関する介助、指導を受け止めたり、排せつに意識を向けたりす ◇ オムツを交換する。 ◇ 教職員の介助に協力する。		○	
通年	水分補給		◆ 水分摂取に関する介助を受け入れ、一定の量の水分を摂る。 ◆ 水分注入に協力し、おちついてケアを受ける。 ◇ 水分注入 ◇ コップやスプーンで水分を摂る			○
通年	給食準備		◆ 給食への見通しをもつ。 ◇ 座位保持椅子などに座り、準備に協力する。 ◆ 姿勢を整え、介助やケアを受け入れて協力する。 ◇ カットテーブルやエプロンを付けた り、巾着を開いたりする。 ◇ 摂食や注入時の姿勢づくり			○ ○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	小学部	学年	第3年											
教科等名	生活単元学習			学習グループ	⑥											
ねらい	(1) 行事に向けた学習を通して、活動に見通しをもって参加する。 (2) 季節に関する遊びや活動を通し、日本の四季や習慣を身近に感じたり、楽しんだりする。 (3) 友達や教職員と一緒に活動する体験を重ね、いつもと違う環境、雰囲気の中でも落ち着いて活動することができる。															
担当教員	高橋大幸 須永佐和子		年間授業時数	70	時間											
使用教科書	しかけ絵本の本棚「ヨロちゃんはどこ?」(評論社) 「でんしゃでいこうでんしゃでかえろう」(ひさかたチャイルド) エリックカールかずのえほん「1, 2, 3どうぶつえんへ」(偕成社) 「ひらがなカード」(くもん出版) 生活図鑑カード「くだものやさいカード1集」(くもん出版) こねこちゃんえほん6「かぜひいちゃった!」(金の星社) 「ふわふわちゃんおでかけこんには」(教育画劇)															
主な指導の工夫	(1) 行事に向けた学習を通して、場面に慣れ、活動に見通しをもって参加する。 (2) 季節や行事に関する歌を取り入れることで、積極的に参加したくなるような楽しい雰囲気を作る。 (3) 周りの様子や友達へ安心して気持ちを向けることができるよう、分かりやすく共感的な言葉掛けを行う。															
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点			教科の位置づけ									
				知識	思考	態度	国	社	算	理	音	図	家	体	外	
4	春をさがそう	8	◆春の植物や気候に触れ、自然や行事に親しむ。 ◇校内散策、中庭での活動 ◇ブランコ、シートブランコ、ボール遊び ◇土遊び、種まき・苗植え、観察													
5	畑の活動1															
5	運動会の練習をしよう	8	◆運動会練習を含め、身体を動かす楽しさや達成感を感じる。できる。 ◇種目や応援に使用する用具の製作 ◇体操や出場種目の練習													
6	雨の季節を楽しもう	8	◆梅雨の季節での活動を通して、教職員からの働き掛けに気持ちを向けて楽しむ。 ◆植物の栽培や収穫物を生かした活動で夏を感じることができる。 ◇シートブランコ、台車遊び、パラバルーン、傘遊び ◇土遊び、水やり、花や葉の採取、野菜の収穫													
7	夏を感じよう															
9	水遊びをしよう	6	◆水遊びを通して、水の冷たさ、心地よさ、感触を感じたり、楽しんだりする。 ◇準備体操「てとてとてと」 手足のマッサージ ◇水遊び													
7																
10	秋をさがそう	8	◆秋の植物や気候に触れ、自然や行事に親しむ。 ◆植物の栽培や収穫物を生かした活動で秋を感じることができる。 ◇ブランコ、滑り台、パラバルーン、歌「実りの秋」 ◇土遊び、水やり、花や葉の採取、野菜の収穫													
11	畑の活動3															
11	墨東祭の練習をしよう	10	◆墨東祭の発表の見通しをもち、友達や先生と一緒に発表練習に参加し、楽しむ。 ◇墨東祭に必要な用具の製作 ◇墨東祭の発表の準備													
12																
1	冬の遊びを楽しもう	8	◆年の初めや冬にちなんだ活動を通し、季節を感じ、楽しさを表す。 ◇凧あげ、こま回し ◇お湯袋遊び、おしくらまんじゅう													
2																
3	1年を振り返ろう	2	◆1年間の学習を振り返り、思い出す。 ◇1年間の中で行った内容を振り返りでもう一度活動する。													
通年	みんなで遊ぼう	12	◆活動に興味をもち、友達の様子に気持ちを向けたり、順番を意識しながら活動したりする。 ◇名前呼び・歌・関わり遊びなど													

※ 評価の観点：「知識」=知識・技能、「思考」=思考・判断・表現、「態度」=主体的に学習に取り組む態度